

報道関係者各位

2025年11月19日 配信 No.2025-36
立命館アジア太平洋大学 (APU)

国内最大級の英語開催 人文社会系学術会議 「アジア太平洋カンファレンス2025」 11月29日（土）・11月30日（日）APUにて開催

今年開学25周年を迎えた立命館アジア太平洋大学（大分県別府市、学長：米山裕、APU）は、11月29日（土）と11月30日（日）の2日間、アジア太平洋カンファレンス2025（以下、「APカンファレンス」）を開催します。

本カンファレンスは、世界の研究者に研究発表の機会を提供すべく2003年から開催しており、今年で23回目となります。英語開催の人文社会系の学術会議として日本最大規模で、アジア太平洋地域とこの地域を取り巻く世界が直面する課題を学術的に議論することにより、APUが掲げる「Shape Your World」の実現に貢献することを目的としています。これまで国内外の著名な研究者や各国政府の高官など、多岐にわたる分野の専門家が参加しています。今年度、既に登録済みの参加予定者は300名を超え、出身国・地域は43にのぼります。一般の方の聴講も可能です。

【APカンファレンススケジュール】

日時：11月29日（土）9:15～17:05（8:30受付開始）

11月30日（日）9:15～17:25（8:30受付開始）

場所：グリーンコモンズ（J棟）

言語：英語（一部の分科会は日本語実施）

対象：どなたでもご参加いただけます（聴講参加無料）

※ご取材のお申し込みは、3枚目の申込書をご記入の上、広報までお送り
お送りください。

※スケジュール詳細は以下URLまたはQRよりご確認ください

<https://www.apu.ac.jp/apconf/program/>



今回は、「協調の再発見～断片化する世界の中で～」をテーマに掲げています。国際社会における政治的分断とその帰結としての紛争、地球規模での環境問題とその要因としての現代資本主義が抱える構造的な限界など、我々は今日多くの難問に直面しています。

APUは2000年4月1日、「21世紀の来るべき地球社会を展望する時、アジア太平洋地域の平和的で持続可能な発展と、人間と自然、多様な文化の共生が不可欠であると認識する」と宣言し開学しました。テーマには、開学以来、類いまれな多様性と包摂性を実現するに至ったAPUが、人類の未来に一層力強く貢献していきたい、またAPカンファレンスが、その起点としてのアジア太平洋地域における一つのハブとして機能する存在となっていきたいとの思いが込められています。

【APカンファレンス2025の見どころ】

■基調講演

11月29日（土）14:00～15:10 グリーンコモンズ（J棟）J101

テーマ：「Forging Cooperation in a Fragmented World」

登壇者：国連人権高等弁務官事務所（OHCHR）Morse Flores氏

2006年APU卒。先住民族・少数民族フェローシッププログラム・国連先住民族自主基金事務局
人権オフィサー／コーディネーター

講演言語：英語（通訳無）

■分科会

研究テーマに応じた68の分科会を開催します。以下よりタイムテーブルをご覧ください。

<https://www.apu.ac.jp/apconf/program/2025/Timetable2025.pdf>

【APカンファレンスに関するお問い合わせ】

APカンファレンス事務局

立命館アジア太平洋研究センター（RCAPS） 担当：金剛

Email : apconf@apu.ac.jp

出席お申込み ご返信フォーム

国内最大級の英語開催 人文社会系学術会議 「アジア太平洋カンファレンス2025」 11月29日（土）・11月30日（日）

【日時】11月29日（土）9:15～17:05（8:30受付開始）

11月30日（日）9:15～17:25（8:30受付開始）

【場所】立命館アジア太平洋大学 グリーンコモンズ（J棟）

お名前	
貴社名・媒体名	
ご取材方法	<input type="checkbox"/> スチール撮影 <input type="checkbox"/> ムービー撮影
メールアドレス	※必ずご記入ください
電話番号	

自由記述欄（個別取材のご希望など）

何かご不明な点がありましたら、以下連絡先まで、遠慮なくお尋ねください。

出席につきましては、誠に恐れ入りますが、11月27日（木）17:00までに
メール、またはFAXにてお申込みください。

E-mail : r-apu@apu.ac.jp FAX返信先 : 0977-78-1108